新しい一年へ
来年もまた

流れる年月の繋ぎ目

まだ大学生になったばかりの頃。サークルに入り、2年ぶりに下級生になると新鮮なのは先輩に可愛がってもらえること。一緒に食事に行くと、今まで自分の分は自分で、だったのが、当然のように先輩が先に支払ってくれる。

ご馳走されるのに慣れていない私は申し訳ないと思い、自分も出すと申し出ると、あっけなく追い返されていました。

「奢られた分はいつか後輩ができたら奢ってやれ」

その言葉通りにその次の年は後輩に奢っていると、やはり後輩も遠慮するので、後輩の財布をしまわせるために意識せず先輩と同じセリフを使っていました。

誰かから受けた恩は誰かに繋がっていく。

先輩にご馳走してもらった一年。その翌年は後輩にご馳走する一年。そしてその次はその後輩が、そのまた後輩にご馳走してあげる一年。

人はきっとそうやって繋がってきたような気がします。

道を譲ってもらったから自分も譲る。誰かに助けられたから自分も誰かを助ける。きっとそんな風に。

今年ももうすぐ終わり、また迎える新しい一年。

そうしてその短い一年の積み重ねが気付けば次の世代へと移り変わるのでしょう。

その流れる年月の繋ぎ目に人の思いやりがあることで、時が流れても誰かが誰かのために何かをしてあげることができるのかもしれません。

移りゆく季節の向こう側、次の一年も皆さんがそんな温かい繋がりを感じられることを心から願っています。

来年も皆さんにとって素敵な一年になりますように。

良いお年をお迎えください。

いいこと

いよいよ今年も終わろうとしている。厳しさを増す寒さに首をすくめたくはなるものの、この年の瀬の雰囲気は味わい深い。華やかなクリスマスの時期には自然と心も沸き立つし、それが過ぎれば、近づいてくる年末の足音にこの一年をしみじみと振り返りたくなる。次々と色を変える街の雰囲気にあわただしい気持ちにもなるけれど、やはりこの時期独特の風景を見ると「今年も終わるのだなあ」と一年ぶりの感慨にひたりたくなる。今年はどんな一年だっただろう？うまくいかなかったことばかり思い浮かぶ人もいるかもしれない。そんな時には、小さなことでも「いいこと」だけを書き留めてみる。集められた小さな幸せを眺めてみると、この一年も大切な時間だったことが感じられる。そして、続くこれからの一年も小さな幸せを積み上げていこうと思えてくるはずだ。

風にゆられて誰かに届け！
風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。

誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名にと「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あとは、事務局返信用封筒に同封下さい。今でに交流のきっかけです。

次回発送日

★年末年始の発送日

年末（12月31日）の発送は、年賀状などの郵便事情の影響を考慮し、お休みとなります。なお、年明け最初の発送は通常通り（1月15日）です。送りたいお手紙がある場合には、13日までに事務局に到着することを確認の上、ポストに投函してください。

★年末年始の休業日

事務局業務は12月28日～1月6日までお休みとさせていただきますのでご了承ください。この一年間ありがとうございました。また来年も宜しくお願いいたします。

ふみびと
第２８８号
発行所
文通村事務局
編集　広報部
千葉県成田市